

## 文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 平成28年2月29日(月)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時59分  
(休憩 午後 0時01分～午後0時04分)
- 4 閉会時刻 午後 1時02分

- 5 出席者
- |     |        |      |       |
|-----|--------|------|-------|
| 委員長 | 草賀 章吉  | 副委員長 | 小沼 秀朗 |
| 委員  | 大石 與志登 | 委員   | 山崎 恒男 |
| 〃   | 中上 禮一  | 〃    | 山本 行男 |
| 〃   | 渡邊 久次  | 〃    | 山本 裕三 |

当局側出席者 浅井副市長、教育長、健康福祉部長、健康福祉部付参与、  
こども希望部長、教育次長、所管課長

事務局出席者 議事調査係 鈴木康倫

### 6 審査事項

- ・ 議案第39号 平成27年度掛川市一般会計補正予算(第7号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第3款 民生費  
第4款 衛生費(第1項3目のうち所管外部分を  
除く)  
第10款 教育費
- ・ 議案第40号 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 議案第41号 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 議案第42号 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 陳情第1号 精神障害者に対する他障害者並み交通運賃割引を求める意見書採択に関する陳情

### 7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成28年2月29日

市議会議長 竹 嶋 善 彦 様

文教厚生委員長 草 賀 章 吉

## 7 会議の概要

平成28年 2月29日（月）午前 9時59分から、第 2委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（浅井副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[ 10:01 ~ 12:07 ]

### ①議案第39号 平成27年度掛川市一般会計補正予算（第7号）について

#### 第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第3款 民生費

第4款 衛生費（第1項3目のうち所管外部分・第2項・第3項を除く）

第10款 教育費

### 第3款 民生費

[福祉課、説明 10:01 ~ 10:09 ]

[質疑 10:09 ~ 10:15 ]

#### ○山本裕三委員

137頁の臨時福祉給付金給付事業費について、システム改修は今回の為だけの改修なのか。

#### ●戸田福祉課長

その事業の都度契約している。国が指示する時期が継続的に使えれば安く出来るが、方向性がはっきりするのが予算要求の時期とタイミングが合わない。

#### ○山本裕三委員

臨時的な給付金が発生するたびにこのような改修費用が掛かるのか。

#### ●水野福祉課社会福祉係長

27年度に臨時福祉給付金の支給事業を行ったが、そのときは金額も6,000円で、対象者も低所得者という条件だった、28年度に実施するのは、65歳以上の高齢者でかつ、年金が低所得という事で対象も変わっている。システム開発事業者はその都度、国の制度に則った改修していく、全てを新しくするわけではないが、一部システムの組み直しが必要となるため、予算が必要となる。

#### ○草賀章吉委員長

53頁の年金生活者等支援臨時福祉給付金の2億9,954万2千円について、この対象者に対してシステム開発を行うとなった場合、いくら掛かるのか。

#### ●水野福祉課社会福祉係長

この金額のうち、システム開発料は900万を予定している。対象が9,200名を予定している。

これは、27年度の臨時福祉給付金受給者の中で、65歳以上の低所得者なので、支給された人は把握出来るが、申請しなかった人が少しいるので、その人達も見込んでいる。

#### ○山本裕三委員

今後、マイナンバー浸透してくると、システム構築も簡単になるのか。

#### ●水野福祉課社会福祉係長

マイナンバーによって個人を特定できるので、所得の関連などは費用を抑えられると思うが、制度の問題があり、年金低所得者などの条件があるので、その部分では開発費用が発生すると思

う。

○草賀章吉委員長

システム開発費用は各自治体で出ていると思うが、中東遠圏域でもほとんど同じシステムを使うので、横の連携が出来ないのか。

●水野福祉課社会福祉係長

掛川市は住民基本台帳のシステムがNECであり、所得情報などもNECが有利だと思う。各自治体によって、ホストコンピュータがNECや他社のため、それぞれの連携の有利性がある。広域連携はすぐには難しい問題があると思う。

○山本行男委員

市長は広域化のクラウドの話をしているが、それを含んでいるのか。

●水野福祉課社会福祉係長

その通りである。

○山本行男委員

43頁の生活保護費負担金について、219世帯、282人ということだが、今年度は26年度に比べて増えたのか。

●水野福祉課社会福祉係長

26年度は211世帯、267名だったので、若干増加した。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

[高齢者支援課、説明 10:16 ~ 10:23 ]

[質疑 10:23 ~ 10:43 ]

○中上禮一委員

133頁の老人クラブ育成事業費について、最近老人クラブを抜ける人が多い。減っている主な要因は何か。

●深谷高齢者支援課長

老人クラブの対象者の年齢がまだ若いという意識の人が多く、老人クラブ以外で自分の趣味にあわせた活動をしているのが現状である。それぞれ健康な生活が出来れば良いと思う。老人クラブでは100万人の会員増強運動をやっているのだから、市からも助言が必要と思っている。

○中上禮一委員

現状維持の方向性は見込まれているのか。

●深谷高齢者支援課長

増加の見込みは難しいが、高齢者人口は増えており対象者は増えている。老人クラブの活動も介護予防の1つになれば良いと思っている。

●柴田高齢者支援課主幹

老人クラブは実際支部によって、60歳超えたら入るところもあるが、主には75歳以上になって活動しており、補助金、総会資料、会計処理等が困難で入らないという現状がある。それについては、単位老人クラブには若い人を入れてその辺を担ってもらうことを推進していくように、クラブの会長に働き掛けをしていきたい。

○中上禮一委員

補助金の監査が非常に厳しくて、監査に行くのが嫌だということあるがその辺はどうなのか。

●深谷高齢者支援課長

27年度に監査事務局から財政援助団体への監査があり、老人クラブへの指導があった。

基本的には公金であり用途は明確にしなければならないため、指導しているが、書類の提出など細かい内容になると、高齢者には難しいと聞いている。できる限り簡略できるようにしていきたい。

○山本行男委員

自分も参加している。老人クラブの参加者の減少は、時代の流れで、社会的にも年金も減って大変で働いている人が多い。必ずしも老人クラブだけが、健康増進や生きがいでいいわけではない。

弾力的に見る必要がある。それぞれのスタイルがあるので、そこを重視しながらやっていく必要がある。

●深谷高齢者支援課長

年齢も含めいろんな立場があり、高齢者が高齢者を見守る事業も必要となるが、スタイルに合った活動が必要と思う。指導支援をしていきたい

○山崎恒男委員

134頁の在宅高齢者生活支援事業費のひとりぐらし老人緊急通報システム設置事業費について、ひとりぐらしの実態について、田舎は心配ないと思うが都会では痛ましい事故がある。

家族だけの老老介護だけだと行き着いてしまう。田舎なら、老人クラブで年寄りの面倒ができないかと思っている。新しい方策を掛川市なら出来ると思うが、どのくらい老人世帯がいるのか、緊急通報システムは、32台設置となっているが、全体で何台設置しているのか。それと老老介護への新しい支援について、隣近所のような関係で何かできないか。

●深谷高齢者支援課長

ひとりぐらしの実態については、27年の4月現在でひとりぐらし世帯3,367世帯、夫婦のみ6,872人、3,436世帯、その他の高齢者世帯、1,160名、450世帯、合計で1万8,772世帯が高齢者世帯である。地域で何か出来ないかと言うことだが、新しい介護予防・日常生活支援など新しい総合事業として、不足しているサービスを研究している。地域で、何らかのサービスの創造が出来ればと思っている。地域によって必要性が違っており、ふくしあでは、特に高齢者の方だと地域包括支援センターがあり、民生委員との連携も出来ているので情報交換しながら対応していければとおもう。

○山崎恒男委員

シニアクラブの衰退を聞くが、シニアクラブの活動の中に入れるのは疑問だが、出来ないこともないと思っている。いわゆる隣近所の活動も、シニアクラブの活動に取り込めば孤立が減るとおもう。年寄りになれば頑固になるので難しい面もあるが、考えて欲しい。

●深谷高齢者支援課長

シニアクラブもサービスの実施主体の一つであると捉えている。その中で、いろんなサービスが出来れば予防の一つに繋がるとおもう。

○大石與志登委員

134頁の在宅高齢者生活支援事業費のひとりぐらし老人緊急通報システム設置事業費について、ひとりぐらしが3,367世帯のうち設置している世帯はいくつか。

●深谷高齢者支援課長

26年度で308台である。

○大石與志登委員

3,367世帯で308台であり、1割も満たない状況である。このようなシステムがある事を知っているのか。普及をどのように進めているのか。

先日も大東区域でもひとりぐらし老人が亡くなったが、4、5日経過して亡くなったのが分か

った。このシステムがあれば防止できたのかと思う、普及の対策を聞きたい。

●柴田高齢者支援課主幹

システムの導入の時には、毎年ひとりぐらし等には民生委員に協力してもらい、高齢者実態把握をしている。年齢の対象は、毎年80歳でひとりぐらしの人を把握している。

支援が必要な人には、包括に繋げてシステムを使うように働き掛けをしている。

○大石與志登委員

啓発はしていると思う、民生委員がやっているのでも承知している。80歳の年齢が果たして適正かどうかと思う。75歳から後期高齢者なので、できれば幅を広げて、75歳以上にするなどの見直しが必要ではないのか。出来るだけ多くの人に設置するようにして欲しい。

●深谷高齢者支援課長

年齢的には、いろんな状態の人がいるので、75歳以上も可能と思うが、予算的な問題もある。システムには第1通報者、第2通報者、通報場所などを決まりがある。家族などの身近な人に連絡が取れている人もある程度いると思う。

必要性について、高齢者でも民生委員や包括を通して各地域で調査を出来ればと思っている。

○山本裕三委員

見守りシステムについて、テレビを付けたり、現状の生活を情報として送り、見守りとして活用出来るので、その辺も調査研究して欲しい。

○渡邊久次委員

97頁の老人ホーム措置費雑入について、ききょう荘の減額の要因について。

●深谷高齢者支援課長

入所の実績に伴うものである。当初48名を見込んだが、現在は掛川市が43名、森町が1名、四日市が1名で合計45名の入所であり、それに伴い収入が減額となった。

○草賀章吉委員長

緊急通報システムもそうだが、先日も視覚障害者件で話したが、いろんな制度があっても対象者に適正なことが出来ているのか疑問である。福祉課と広報の調査結果を聞くと、半数は音声CDが欲しいと言っている。もう少し丁寧に実施すれば、良い制度なので推進して欲しい。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

[国保年金課、説明 10:44 ~ 10:48 ]

[質疑 なし ]

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

**第4款 衛生費**

[保健予防課、説明 10:49 ~ 10:53 ]

[質疑 11:53 ~ 11:02 ]

○山本裕三委員

151頁の結核予防事業費について、どのような人が対象なのか。

● 榛葉保健予防課長

ほとんどが70歳以上で、若いときに一度なってた人が再発したり、外国人やその子どもである。

○ 渡邊久次委員

149頁の未熟児養育医療費給付費の増額の実績について

● 榛葉保健予防課長

26年度は27人、27年度は34人を予想している。

○ 渡邊久次委員

要因は。

● 榛葉保健予防課長

晩婚化に伴う年齢の出産年齢の上昇、若い女性のやせ思考による栄養不足、若い女性の喫煙率が下がっていない、医療技術の向上により今までは亡くなっていたケースでも出産できるようになった。

○ 草賀章吉委員長

149頁の母子健康診査費の減額について、最近の傾向について教えて欲しい。

● 榛葉保健予防課長

スマホが普及して、子育ての時にスマホを見て子どもを見ていない。子どもに直接話しかけていない。それが原因か分からないが、子どもの言葉の発達が遅くなっている傾向あるということが言われている。

○ 草賀章吉委員長

こども希望で子ども向けのスマホで見れるサイト「かけっこ」の利用状況について。

● 松浦こども政策課長

利用状況について、1月14日から開設した。昨日現在、5,808件、1日平均126件である。1月はまだ周知されていなかったのだから少なかったが、2月に入り1日あたりスマホとパソコンを含め、150件の利用がある。スマホだけで1日あたり111件の利用がある。

○ 草賀章吉委員長

先ほどの榛葉課長の内容は、「かけっこ」には表現されているのか。

● 榛葉保健予防課長

母子手帳交付の時からスマホに子守りをさせないことを伝え、子どもと向き合うよう母親に注意喚起、啓発をしている。

○ 山本行男委員

ピロリ菌予防について、保険適用となったが、小笠医師会が因果関係がはっきりしていないと言うことだったが、現在の状況はどうか。

● 原田保健予防課成人保健係長

小笠医師会の考え方は、昨年度と変わっていない。一次予防のリスクの検診しかないのでは、今のところ死亡率低下となるがん検診までの見込みは考えられないということである。

○ 山本行男委員

因果関係は国でも認めている。藤枝市などは推進しており、胃がんのリスクを下げるようにしている。因果関係については、日本の流れをみるとそちらに行っている。ぜひ、実施して欲しい。

● 岩附健康福祉部付参事

医師会で胃がん検診の研修会があり、小笠医師会の先生方もピロリ菌の検査は胃がん検診ではなくリスク検診と言われていた。国では、ピロリ菌検査と致死率についてのエビデンスが確立さ

れていないので、ピロリ菌の検査については、まだ認められていない。国では胃内視鏡検査を推奨している。しかし、掛川市では胃内視鏡検査を実施できる医療機関が少なく進んでいない。

- 草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

[地域医療推進課、説明 11:03 ~ 11:06 ]

[質疑 11:06 ~ 11:07 ]

- 中上禮一委員  
149頁の地域医療整備事業費の減額について、認められなかった理由は何か。

- 平野地域医療推進課長  
詳細は聞いていないが、在宅医療については看取りに関する意識調査を計画していたが、今後調査できるようにしていきたい。もう一つは、ふくあの検証を専門職に委託する予定だったが、補助金がないため、東京女子医科大学の先生に協力を求めて、現予算でできる限りの検証の評価を始めている。

- 草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

### 第3款 民生費

#### 第10款 教育費

[こども希望課、説明 11:08 ~ 11:17 ]

[質疑 11:17 ~ 11:19 ]

- 渡邊久次委員  
141頁の母子家庭等支援費の減額について件数が減ったということだが、母子家庭が減ったのか支給対象が減ったのか。

- 松下こども希望課長  
母子家庭は増えている。142頁の2の自立支援費の減額については、一人親家庭への就労支援のための資格取得のための経費である。資格取得には取得に要する期間が必要でありすぐに収入に直結する訳ではない。資格取得の興味関心がないと利用に結びつかない。入学するには、時期があったりして利用対象者が限定されている。しかし、貧困対策の一つとして資格取得は有効であるため、周知と利用促進を図っていきたいと考えている。

- 草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

### 第3款 民生費

[こども政策課、説明 11:20 ~ 11:22 ]

[質疑 11:22 ~ 11:24 ]

- 中上禮一委員  
139頁の児童福祉推進費の子育て協働モデル事業委託料については、どんな内容か。

- 松浦こども政策課長  
今年度初めての事業であり、子育て、結婚前の自分磨き、家庭の子育て力の向上、子育てと仕事の両立、民間が主体となった地域の子育て支援に該当する事業について、市民、民間、企業が

ら提案をいただき、それに対して委託するものである。具体的にはママバトンという団体に子ども古着の交換として、5点持って行くと、他の人が持ってきたものを5点をもらえたり、結び逢いという団体には、結婚前のスキルアップセミナーを6回実施してスキル向上を図ってもらう事業などを委託した。

市民力を活用したモデル事業をしてもらい、それを事例集として市民に広げたいと思っている。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

## 第10款 教育費

〔学務課、説明 11:25 ～ 11:30 〕

〔質疑 11:30 ～ 11:36 〕

○山本裕三委員

195頁の校舎改築補強事業費の中央小校舎改築事業費について減額の要因は。

●中山学務課長

委託料の算定については、国土交通省に報酬の基準が定められている。その基準に基づき算定していくが、それには建築用途、建物の床面積、高い技術力、創造力を期待される設計かなどの要素による。この基準により算定した予定価格で、制限付き一般競争入札を行うが、この応札による入札差金である。

○大石與志登委員

195頁の教職員健康管理費、200頁の教職員健康管理費について、かなり減額しているが、予算の要求時には実数を把握出来なかったのか。

●中山学務課長

指定年齢が40、45、50、55、退職前となっており、新年度予算の要求時には教職員の人事は、確定されていないため、把握はできない。  
い。

○大石與志登委員

207頁の学校給食施設整備費の地質調査委託料について、入札結果に基づいて減額しているが、地盤の検査結果がいい結果だったのか教えて欲しい。

●中山学務課長

掛川区域で建物を支持する地盤というのは、一般的に泥岩であるが、建設予定地は谷を埋めたところであり、泥岩まで一番深いところで地表面から30メートルであった。谷のため浅いところもあるが、その部分は17メートルや20メートルであった。

○大石與志登委員

その分については、来年度の当初予算に見込んでいるのか。

●中山学務課長

見込んでいる

○渡邊久次委員

197頁の中学校運営費の緊急地震速報システム購入費について、小学校16校、中学校4校ということで、減額となっているが、設置は全て出来たのか。

●中山学務課長

今年度で全ての小中学校に設置された。

- 草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

[学校教育課、説明 11:37 ~ 11:42 ]

[質疑 11:42 ~ 11:44 ]

- 山本裕三委員  
199頁の魅力ある中学校づくり推進費について、高校の活動には難しいのか。高校で全国大会出場した場合でも県立なので難しいのか。

- 佐藤学校教育課長  
義務教育の中で実施しているので難しい。

- 山本裕三委員  
高校でも頑張っている。掛川にも県立高校があるので、市でも注目して欲しいという要望もあった。今後検討して欲しい。

- 佐藤学校教育課長  
学校教育ではなく別の担当部署になる。

- 栗田社会教育課長  
高校や市内の方には、子どもに限らず全国大会の出場者には報奨金や、市長や副市長に表敬して、プレスにも入ってもらい広報に努めている。

- 草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

[社会教育課、説明 11:45 ~ 11:51 ]

[質疑 11:51 ~ 12:01 ]

- 山本裕三委員  
前回の松ヶ岡プロジェクト推進委員会について、進捗を教えて欲しい。

- 栗田社会教育課長  
これまで委員会は数回開催した、主な内容は募金の活動状況の中間報告及び松ヶ岡プロジェクトの関係者にビラ配りや募金活動の依頼である。

- 大石與志登委員  
205頁の横須賀城跡管理費について、進捗状況を教えて欲しい。

- 栗田社会教育課長  
買収については10カ年計画の2年目となる。詳細は主幹から説明する。

- 鬼澤社会教育課主幹  
史跡の指定の面積が16万8,419.64平米で、公有化済みが9万3,859.32平米である。27年度の予定が5,332.18平米で今年度の面積については、公有化対象面積全体の12パーセントとなる。全体的には、今年度を抜いた率で、56パーセントの公有化率となっている。

- 大石與志登委員  
今年度分をいれたら何パーセントになるのか。

- 鬼澤社会教育課主幹

今年度を入れると、約58.8パーセントになる。

○山崎恒男委員

89頁の松ヶ岡整備事業寄付金について、今年寄付金が1,032万4千円といったが、寄付者はどのような特徴があるのか。

●栗田社会教育課長

寄付金は継続的に実施している。プロジェクトのメンバーで手分けして行っている。市外の企業からの寄附が大きい。市内では、年末から呼びかけたことにより、市内の企業からもいただいており、寄付金額については、合計で2,040万円となった。それ以外にも、一般公開で募金箱を設置しており、それを含めて全体の状況である。

○草賀章吉委員長

地震津波と松ヶ岡が一緒になっているのか。

●栗田社会教育課長

地震津波寄付金は従前からやっており、その企業回りのときに松ヶ岡のビラを一緒に持って行ってもらっている。

●松本教育次長

委員長は東京を中心とした市外、プロジェクトメンバーは市内向けに頑張ろうとしている。市内でどれだけPR出来るかが、外向けのPRにも繋がっていく。プロジェクト推進委員会では、自分達がどれほどの事が出来るのか、活動の具体策を議題として取り組んでいこうと確認したところである。

○山崎恒男委員

まだ、市民にはこの寄付が周知されていない。もっとPRの努力が必要ではないか。事務局で研究して努力して欲しい。

●栗田社会教育課長

いろんな方策を考えてPRを考えている。募金もそうだが、松ヶ岡の存在も知られていないので、周知活動と並行して実施していきたい。HPの充実や、市内外の関係団体とも連携していこうと考えている。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

[休憩 12:01 ~ 12:04]

[図書館、説明 12:04 ~ 12:05 ]

[質疑 なし ]

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

[討論]

なし

[採決]

議案第39号 平成27年度掛川市一般会計補正予算（第7号）について  
全会一致にて原案のとおり可決

.....  
[ 12:07 ~ 12:15 ]

②議案第40号 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

[国保年金課、説明 12:07 ~ 12:14 ]

[質疑 なし ]

○草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

[討論]  
なし

[採決]  
議案第40号 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について  
全会一致にて原案のとおり可決

.....  
[ 12:15 ~ 12:19 ]

③議案第41号 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について

[国保年金課、説明 12:15 ~ 12:17 ]

[質疑 12:17 ~ 12:19 ]

○渡邊久次委員  
56頁の特定健康診断等事業費の特定健康診断委託料について、受診者の減少での減額だが、実数は。

●太田国保年金課長  
予算見込みは3,700人だが、実績見込みは3,500人とした。

○草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

[討論]  
なし

[採決]  
議案第41号 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について  
全会一致にて原案のとおり可決

.....  
[ 12:19 ~ 12:37 ]

④議案第42号 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

[高齢者支援課、説明 12:19 ~ 12:29 ]

[質疑 12:29 ~ 12:37 ]

○山崎恒男委員

93頁の通告質疑でもあったが、介護サービス給付が5億余減っている。

この減額は喜んで良いのかと思うが、市長の答弁では施設の入所予定が半分以下になったと言っていたが、施設の充実を行ってきたが、希望の丘にできた施設が該当すると思うが、施設を作ったが維持できるのかが心配。介護保険そのもので見れば給付費が減ったのはいいことだが。当局としてはどう感じるか。

●齋藤健康福祉部長

給付費そのものが減ったわけではない。給付費は増えている。今回の補正は予算額に対して実績が下がっていたのでその分を減額するという。給付費は、前年度の決算よりも多くなっている。掛川市の特徴として、特別養護老人ホームの待機状況は他の施設で待っているのが他市より多い。今回のラースル掛川は特養100床。ここに入所している人は、在宅の次に多いのが、老健施設から入っている。希望の丘の新しい老健施設だけでなく既存の老健施設からも入っている。まず、老健がいっぱいになって今後、玉突き式に順次入っていくことになる。それに少し時間が掛かったのが27年度の状況だと捉えている。施設そのものについては、老健施設は医療と家庭の橋渡しをする中間施設である。希望の丘の施設はその辺も踏まえ、リハビリスタッフを50名程用意している。掛川市としても今後、特養を作って行くわけではないため、非常に必要な施設である。ただ初年度で、特養と同じにできたものなのでまずはそちらに人が動いたということが本年度の動きと考える。施設がなくなるとはいけないので、在宅には力を入れふくしあ等を中心に積極的に活用し在宅の方へ流れていくようにしたい。

○山崎恒男委員

初年度なので見込みより減ったという事だが、中期的に見れば施設の運営が出来るという見込みか。

●齋藤健康福祉部長

計画は3年計画で、平成27度を初年度とし、平成27年から平成29度と3年間でサービスと供給の見込みも3年間トータルで捉えている。

毎回、初年度から2、3年度お年寄りが増えるため給付費が上がっていくためそういう意味ではトータルとして考えてる。初年度については見込みより少なかったが、その分は基金に積立して2年目3年目の延びていく需用に対処していく。

○渡邊久次委員

掛川市の介護保険料は県下で一番高い理由は、施設の設置が進んでいる事や、被保険者の介護度が高い重度の人が多いう事だと思うが、特養がいっぱいで、老健が予定の半分。

掛川市の見込みのミスマッチがあった訳ではないのか。

●齋藤健康福祉部長

要因は入所の費用、特養は施設の中で一番低額、特養の低所得者は居住費と食費の補助が出る。それを使う方には一番安い施設となるため、順番としては、そこから埋まっていく。

まず特養に行って、そこから順次動いていく。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

[討論]

なし

[採決]

議案第42号 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について  
全会一致にて原案のとおり可決

.....  
[ 12:37 ~ 12:59 ]

## 陳情第1号 精神障害者に対する他障害者並み交通運賃割引を求める意見書採択に関する陳情

[説明 12:38 ~ 12:44 ]

[質疑 12:44 ~ 12:59 ]

○草賀章吉委員長

なぜ国が精神障害者に対しては、認めていないのか。

●三浦福祉課主幹

国土交通省がJRに対して行った業務監査における回答を報告させていただく。

国土交通省からの精神障害者への割引適用については、多くの要望が寄せられており今後とも引き続き理解と協力を求める要望に対して、JRからは障害者割引は、旧国鉄時代からの身体障害者割引を含め日本国政府の福祉施策の一環として行政の負担で行うべきとの回答。

○草賀章吉委員長

JRとしては、国が出してくれるならやりましょうということ。民間だから。

●戸田福祉課長

国の施策で事業所負担になっている。国の施策としてやっていただきたい事が時々ある。

○渡邊久次委員

精神障害者に対しては、国から出ていないのか。

●三浦福祉課主幹

現在は、身体障害者と知的障害者がやっている。精神障害者のみやっていない。

国鉄時代に身体障害者は国有のため簡単にできたが、JRとなり民間となり難しくなった。

○草賀章吉委員長

身体障害者は、JRが独自で会社持ち出しでやっているのか。

●三浦福祉課主幹

JRの持ち出しでやっている。

○大石與志登委員

精神障害は病気なのか、知的障害、身体障害としてみるのかそれによって分かれる。どちらなのか。

●戸田福祉課長

障害を持って手帳を持っていない段階でも療育、精神の方でも手帳を持っていなくても受けられるサービスがある。境は難しい、身体障害者、知的障害者のかたと違い、精神のかたは治療すれば良い状況になる方もいるため判断が難しい。

○大石與志登委員

病気という判断なら、治らない病気例えば、肝炎等の皆さんには割引がない。同じ病気の中で精神障害だけなぜ割引きがあるのかという可能性があるのではないかと。広がっていくと負担が大変になる。その点が一番気にしているところ。

●戸田福祉課長

障害者差別法の中で出ている。

500人サポート就労支援を行っており、活動するとき運賃が負担という話も聞いている。

その面からも市として交通運賃の助成は必要と思う。

○山本裕三委員

市内の対象者は何名いるのか。

●戸田福祉課長

1級38名、2級234名、3級174名、全部で446名。平成28年3月1日現在。

○山本裕三委員

今回、3級まですべてか。

○中上禮一委員

補助の場合はどのくらいの金額になるのか。

●戸田福祉課長

まだ細かい数字がでていない。

○草賀章吉委員長

陳情は国へ上げてほしいもの。ここで判断するものではない。  
そういう観点で議論願いたい。

○小沼秀朗委員

陳情の資料の意見書の案があるが、精神障害者の1ヶ月平均収入6万円という全福連のアンケートを見ても公共的なものの補助があつて外にでていただくようなことが必要と思う。

○大石與志登委員

今年の4月からの障害者差別解消法により、その施行によって精神障害者が救われるかどうか、国の動きはどうか。

●戸田福祉課長

啓発パンフレットはあるが、細かい施策については指示がない。  
市に対して相談しなさい等、今でもやっているが具体的には事業の指示はない。  
啓発を広報等でしていく。

○草賀章吉委員長

委員長としては、意見書なので陳情の趣旨にのっとって提出することがいいのではないかと思う。最終的には国の判断。弱者の声を届けてあげることが大事なのは、委員会の中では採決をする。いかがか。

[採決]

**陳情第1号 精神障害者に対する他障害者並み交通運賃割引を求める意見書採択に関する陳情  
全会一致にて原案のとおり可決**

○草賀章吉委員長

意見書の内容を決めていく、副委員長朗読をお願いします。

○小沼秀朗副委員長

精神障害者に対する他障害者並み交通運賃割引を求める意見書  
障害者の交通権を保障する上で、公共交通機関が果たす役割は重要であり、身体障害者は旧国鉄時代の昭和25年から、身体内部障害者は平成2年から、知的障害者は平成3年から交通運賃割引が実施されてきた。

現在、運賃割引を実施している交通機関等は、JRを始め、民間鉄道、航空、旅客船、バス、タクシー及び、高速道路に及んでいる。

しかし、精神障害者については、平成9年から平成10年当時、精神障害者家族の全国団体が中心となり、JR運賃割引を求めて大規模な署名運動を実施したが実現せず、全国的には一部の路線バス及び民間鉄道などが割り引きを行うようになったものの、精神障害者と身体障害者及び知的障害者との格差は解消されていない。

また、全国精神保健福祉会連合会が実施したアンケート調査の結果にも、経済的に苦しく交通費が負担となっている実態が明らかになった。

平成26年2月に日本政府が批准した「障害者の権利に関する条約」の第4条には「障害者に対する差別となる既存の法律、規則、慣習及び慣行を修正し、又は廃止するための全ての適切な措置をとること。」や「この条約と両立しないいかなる行為又は慣行も差し控えること。」さらに、第20条には「障害者自身が、自ら選択する方法で、自ら選択する時に、かつ、負担しやすい費用で移動することを容易にすること。」と明記されている。

よって、この条約に基づき、精神障害者にも、身体障害者及び知的障害者と同等に交通運賃割引制度を速やかに実現するよう、万全の対策を講じるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月22日静岡県掛川市議会。

○草賀章吉委員長  
この内容で良いか。

○草賀章吉委員長  
以上で終了する。

4) 閉会 13:02